



令和 8 年 7 月 吉日

あだちの里 法人ニュース

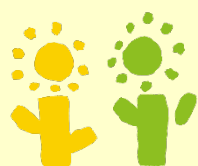
夏号
第 100 号



2P 令和 7 年度事業報告

3P 令和 7 年度決算報告

4P DVD 制作/親の会からの寄付金の御礼/あだちの里後援会について



社会福祉法人

あだちの里

〒121-0813 東京都足立区竹の塚七丁目 19 番 7 号

TEL 03 (5831) 1721 FAX 03 (5831) 1720

MAIL : a-jimkyoku@a-sato.or.jp

HP : <https://a-sato.or.jp/>



令和 7 年度事業報告

法人設立から 30 年という節目を迎えるにあたり、これまでの歩みを振り返り、多くの皆さまへの感謝の気持ちを新たにするとともに、今後に向けた決意を明確にするため、ミッションをはじめとする法人理念を再構築いたしました。また、この理念を職員一人ひとりが大切にすよう、研修の実施や説明動画の視聴、法人紹介動画の制作、事業計画との連動、職員イベントの開催など、理念に触れる機会を数多く設けました。

令和 7 年度は、中期事業計画の 4 つの重点項目に基づき、各事業を推進しました。

いっしょにいる安心を。
「やってみたい」に力を。



社会福祉法人

あだちの里

中期事業計画の 4 つの重点項目

1 【ニーズに応じた質の高いサービス】

ニーズに応じた質の高いサービスの提供を目指し、通所事業所を利用する利用者 609 人とご家族を対象にニーズ調査を実施しました(回答率：76.5%)。調査では、利用時間や利用日、サービス満足度、生活の場、成年後見制度などについて伺いました。

その結果、全体の 8 割以上の方が現在のサービスに満足している一方で、重度の方に対応したグループホームの増設、医療機関との連携強化、短期入所や緊急預かり体制の充実などを望む声も寄せられました。このニーズは中期事業計画にも位置付け、計画的に取り組んでいます。

2 【働く環境の整備と職員の活躍】

女性職員において中堅層が少なくなっている状況でした。そこで、女性職員 117 名を対象に面接およびアンケート調査を実施しました。

その結果、書類・記録等作成の業務増加、会議の負担などが挙がりました。

改善策として、委員会および各種会議の運営方法を見直し、IT 化も含めた書類・記録様式の簡素化や重複作業の削減などに取り組みました。

3 【安定した法人経営】

(1) 利用者確保を目的に、特別支援学校のご協力を得て在校生ご家族を対象とした法人事業所紹介および見学会を実施しました。見学会を通じて、Instagram の紹介、各事業所の特色や魅力を直接お伝えすることができ、昨年度以上の新規利用者を確保できました。

(2) 江北ひまわり園および竹の塚居宅介護サービスセンターの赤字経営について分析を行い、改善方法を検討しました。その結果、江北ひまわり園において、ご利用者の出席率の向上、新規ご利用者 3 名にご利用していただくことになりました。竹の塚居宅介護サービスセンターにおいては、行動援護事業に法人職員がヘルパー業務に携われるように体制整備を進めました。

4 【地域に向けた取り組み】

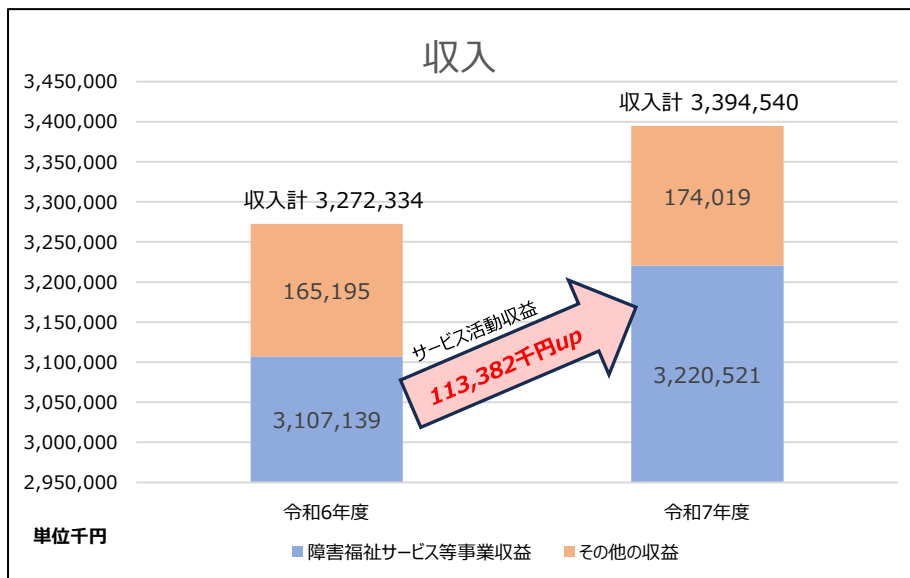
(1) 各事業所において地域交流祭や感謝祭を開催し、事業所および障がいのある方への理解促進に取り組みました。また、地域のイベントにも積極的に参加し、事業所で製造している物品の販売やボランティア活動を行いました。さらに、足立区社会福祉協議会と連携し、事業所を地域の拠点として車いす貸出事業を開始しました。

(2) 法人ニュースおよび各事業所の広報紙を定期的に発行し、行政をはじめ、地域の町会・自治会の皆さまに、各事業の内容をお伝えすることができました。また、各事業所での活動の様子を Instagram で発信し、より多くの方に事業の様子をご覧いただきました。

令和 7 年度決算報告

令和 7 年度の決算報告から当該年度のトピックスをご報告させていただきます。(※事業活動計算書ベースでの報告)

1 収入の部【サービス活動収益計+サービス活動外収益計+特別収益計】



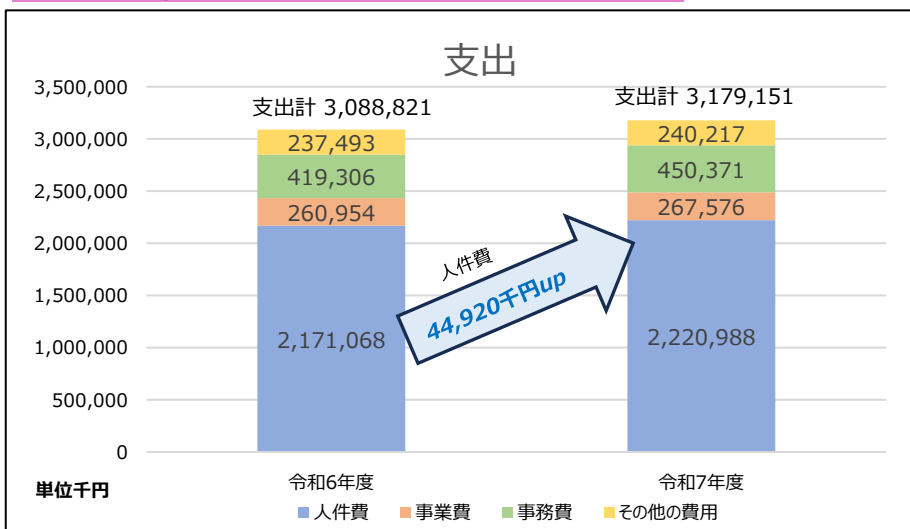
障害福祉サービス等事業収益^{*1}は、前年度より1億1,338万円の収益増となりました。希望の苑(通所)で新たに高齢向け事業(生活介護生活訓練型)の開始、赤字事業の経営改善による取り組み、新規ご利用者を確保するための魅力的な活動の実施等の取り組みにより収入増となりました。また、処遇改善^{*2}による収入も大きな要因となりました。ただし、ご利用者の退所等による現員が減少し、収入減の事業所もあるのが現状です。



*1 障害福祉サービス事業において提供したサービスから得られる収入のこと

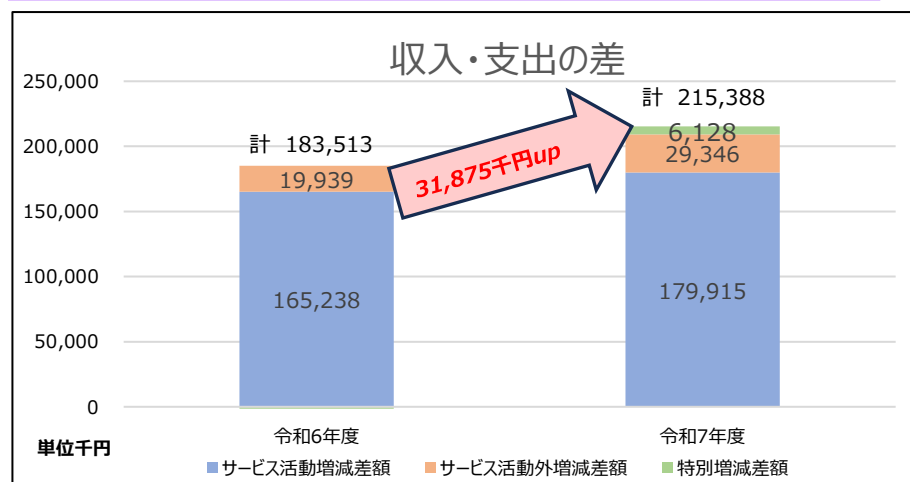
*2 福祉・介護・保育などの現場で働く職員の賃金や待遇を向上させるための国の制度で、加算を原資として給与や手当の改善に充てる仕組み

2 支出の部【サービス活動費用計+サービス活動外費用計+特別費用計】



人件費は、前年度より4,992円の増加となりました。職員の定期昇給のほか、職員の処遇改善の取り組みとして、一時金を支給したことによるものです。福祉業界は、マンパワーが必要となる職種でもあるため、人材を確保するためにも処遇改善の必要性は高い方策と考えています。その他、法人設立30周年記念事業の実施、制作物の作成等によるブランディング費用や新規事業開設に伴う送迎サービス費用等がありました。

3 当期活動増減差額^{*3}【サービス活動増減差額+サービス活動外増減差額+特別増減差額】



令和 7 年度の収入と支出の差は、2億1,538万円となり、前年度より3,187万円増額となりました。1年間の取り組みの成果があり、前年度比117.4%となりました。法人全体での収益性は全国平均を上回っており、安定した経営状況となっています。しかし、事業所によって収支状況が異なっているため、安定した法人経営のためにもさらなる取り組みが必要となっています。



*3 社会福祉法人の1年間の経営成績を示す「最終的な利益」に相当する指標

社会福祉法人は公益性の高さから、社会福祉の向上に貢献する重要な役割を担っています。そのため、透明性の高い会計処理が求められており、「資金収支計算書」「事業活動計算書」「貸借対照表」の作成が不可欠です。詳しい決算状況は、あだちの里 HP に掲載していますので、ご覧ください。【<http://a-sato.or.jp/>】



DVD 制作

あだちの里では令和 5 年度に、「知的障がいがある人」を多くの方に知っていただきたく、動画制作プロジェクトチームを結成し、「知的障がいのある人について知ろう」の動画を制作しました。その後、令和 6～7 年度にかけては、もう少し分かりやすい小学生向けの動画制作に着手し、アニメーションを使用した動画を制作しました。実際に体験を交えながら動画を見て頂けるようになっています。障がい理解について学ぶ機会を作りたいとお考えの学校関係、他団体の方がおられましたら、授業や講演実施もできますので、お気軽にご連絡ください。

【連絡先】社会福祉法人あだちの里 法人本部総務課

TEL 03-5831-1721

◆◆◆ 小学生向け動画 ◆◆◆

【タイトル】安心して過ごせる街づくりに向けて～知的障がいのあるひとを知ろう～



- 1 知的障がいについて知ろう
- 2 こんなときどうしますか？
- 3 街で見かけるヘルプマーク
- 4 まとめ



親の会からの寄附の御礼

去る 6 月 25 日(木)、当法人の設立母体である足立区手をつなぐ親の会から定期総会の場において、当法人へ寄付金の贈呈セレモニーが行われました。

親の会会長である佐藤会長から「新規グループホームの運営資金の一部に使用してください。」との言葉と共に 700 万円ご寄付いただきました。

親の会会員の皆様の想いを大切に事業の充実、発展のために使用させていただきます。ありがとうございました。



あだちの里の後援会について



あだちの里が運営する施設の活動の充実、行事の運営、ご利用者の地域での活動支援などのために、綾瀬・竹の塚・谷在家と 3 つの後援会からご支援いただいています。

令和 7 年度も綾瀬、竹の塚、谷在家の 3 後援会の皆様より**合計 175 万円**の寄付金をいただきました。こちらは法人運営や新たな施設整備等への準備として大切に使用させていただきます。ありがとうございました。今年度の活動として 4 月には綾瀬後援会総会、6 月には谷在家後援会・竹の塚後援会総会を開催し、無事に終わることができました。

今後ともご利用者一人ひとりの「やってみたい」が、地域の中で温かく育まれていくよう、ご支援をよろしくお願いいたします。

ご賛同をお願いいたします

特別会員：1 口 10,000 円 一般会員：1 口 2,000 円

※ご賛同いただける場合は、下記の受付窓口までご連絡をお願いいたします。

【 お問い合わせ 】

綾瀬後援会 会長 大池 勝巳
受付窓口 綾瀬ひまわり園
03 (3629) 3231

竹の塚後援会 会長 國井 幹雄
受付窓口 竹の塚ひまわり園
03 (5831) 1721

谷在家後援会 会長 浅香 孝子
受付窓口 谷在家障がい福祉施設
03 (3853) 0632